



～令和5年度 前半を振り返って～

令和5年度が始まり、あっという間の半年間でした。その間、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解ご協力のおかげで、南中学校の教育活動を順調に進めることができ、生徒たちはとても充実した日々を送ることができています。この場をお借りして、感謝申し上げます。

生徒の様子等につきましては、本紙を通じて発信して参りました。文化・芸術・スポーツ等、あらゆる場面において優秀な成績を収めるとともに、練習や学習の過程を通して、様々な力を身に付け、全生徒が少しずつ成長しています。

もちろん、まだまだ未熟な中学生ですから、「失敗」「間違っただ行動」「もめ事」「トラブル」など色々なことがありましたが、その時々で、素直に指導を受け入れ、反省したり謝罪したりして、その後の生活に生かすことができています。

また、学校の対応等について、保護者の方からご意見をいただいたこともありましたが、コミュニケーションを深めさせていただくことで、共に課題を解決し、信頼関係を築いていくことができていると思っています。

さらに、各自治会長様をはじめとする地域の皆様には、日頃から大変お世話になっており、特に、日々地域での見守りや声かけ等をしていただいているのおかげで、今のところ「交通事故が0件」です。今後も、「すべては子どもたちの未来のために」教職員と保護者、地域の皆様でより一層、力を合わせていければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

～豊かな心を育む学校を目指して～

11月1日(水)大泉町文化むらで「合唱コンクール」を実施しました。9月末の体育祭が終わるとすぐに合唱コンクールの練習が音楽の授業はもとより、朝・放課後と本格的に始まりました。どのクラスも生徒と担任が「最優秀賞」を目指して、一丸となり練習に取り組む姿は、とても熱いものがありました。しかし、「最優秀賞」は目標であり、目的(真のねらい)は、合唱コンクールに向けての練習を通して、クラスが「団結」したり「絆」を深めたりすることです。音楽的には、下記の通りです。いずれにしましても、当日は全9クラスが今までの練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい合唱を披露してくれました。「合唱コンクール」が生徒の成長に大いに影響を与え、生徒にとっても思い出に残る「青春の1ページ」となることは間違えないと確信しました。

<目的>

- ・自主的、計画的な合唱練習の課程を通して、音楽的なまとめ方や表現力を養う。
- ・発表し合う喜びを味わわせるとともに、鑑賞の能力や聴く態度、ステージマナーを身につける。
- ・学級の情操教育の一助とし、学級内の協力の大切さ楽しさを知り、友情を深める。

<結果> **最優秀賞 3年1組** *全校で1クラスが受賞

第1学年 金賞 1組 銀賞 2組 ・ 3組

第2学年 金賞 2組 銀賞 1組 ・ 3組

第3学年 金賞 1組 銀賞 3組 ・ 2組 ※各学年の銀賞は演奏順

～生徒の活躍を紹介します～ ※敬称略・順不同

◎歯と口の健康啓発標語コンクール

優秀賞 鈴木 莉恋(3年)

◎邑楽郡中学校英語スピーチコンテスト

Good Prize 八巻 結宇(2年)

*裏面に続く

◎**邑楽郡中体連新人大会**の入賞者および県大会出場者は以下の通りです。★印は県大会出場

〈水泳〉

女子総合 準優勝

女子50m自由形 第2位 小林 真優香(2年)

女子50m自由形 第3位 薄井 暖希(1年)

女子100m自由形 第2位 薄井 暖希(1年)

〈卓球〉

女子団体 準優勝

★女子シングルス 準優勝 ウエダ キアラ(2年)

〈バレーボール〉

女子 準優勝

〈バドミントン男子〉

★男子団体 準優勝 川島周真(2年) 家田侑槻(2年) 小内哉汰(2年) 川島琉(2年)
中井大河(2年) 新井泰成(1年) 松澤和聖(1年)

★男子シングルス 第2位 松澤 和聖

★男子ダブルス 第2位 新井泰成 松澤和聖

〈バドミントン女子〉

★女子団体 優勝 権田美奈(2年) 塚原まなみ(2年) 中村凜(2年) 中野渡珠愛(2年)
増田このは(2年) 中村麗(1年) 本田李里(1年)

★女子シングルス 第2位 権田美奈(2年)

★女子ダブルス 第3位 権田美奈(2年) 塚原まなみ(2年)

★女子ダブルス 第3位 中村凜(2年) 増田このは

〈陸上競技〉※県大会の予選ではありません。また、県大会の結果は、次号に掲載します。

男子総合 第3位

共通男子800m 第1位 河田雄暉(2年)

共通男子400m 第2位 金丸璃玖(2年)

〃 第3位 河田雄暉(2年)

共通男子200m 第2位 ニノミヤ ユタカ(2年)

共通男子100m 第2位 金丸璃玖(2年)

1年男子100m 第3位 遠藤ニコラス(1年)

共通男子4x100mR 第3位 ニノミヤ ユタカ(2年) 金丸璃玖(2年) 河田雄暉(2年) 遠藤ニコラス(1年)

女子総合 第3位

1年女子100m 第1位 チャットマン良波(1年)

共通女子100mH 第1位 五十嵐千尋(2年)

共通女子4x100mR 第1位 五十嵐千尋(2年) 柿沼心響(2年) 金城侑里(2年) チャットマン良波(1年)

共通女子800m 第2位 小林椋(2年)

〃 第3位 寺西泉璃(2年)

共通女子砲丸投 第3位 松本桃花(2年)



～校長の独り言～

親は、子どもの将来的な自立を願いながら、忙しさの中で懸命に子育てに励んでいます。そして、その過程では、しつけ・勉強・友達関係・遊び・病気・けが・事故などをめぐって様々な苦勞をするものです。親として「こんなに本気でやっているのにどうして子どもは…」と嘆きたくなる(嘆いた)こともあるでしょう。このようにしつけや勉強など、子育てで悩んでいる親は少なくないのです。私自身、二人の子の親として、子育てでは大いに悩んだものです。いや今も悩んでいます。

子どもをよりよく伸ばし育てるためには、学校と家庭との信頼・協力関係が欠かせません。お互いの願いや期待、教育方針や教育方法などを知らせ合い、理解し合った上でそれぞれの立場で教育や子育てに臨むことが大切ではないかと思っています。